



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 ピクスタ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣大介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田茂穂

TEL 03-5774-2692

四半期報告書提出予定日 2021年5月17日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	691	3.2	38	131.9	26	408.0	16	—
2020年12月期第1四半期	669	△2.2	16	△74.7	5	△91.9	△5	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 16百万円 (3,167.5%) 2020年12月期第1四半期 0百万円 (△98.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	7.34	7.27
2020年12月期第1四半期	△2.47	—

(注) 2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,204	701	31.4
2020年12月期	2,193	680	30.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 691百万円 2020年12月期 673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,780	5.9	15	△59.4	1	△95.6	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、短信添付資料の7ページ「2.(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	2,257,340 株	2020年12月期	2,252,940 株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	562 株	2020年12月期	136 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	2,253,692 株	2020年12月期1Q	2,252,816 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い経済活動全般が停滞し、2021年1月には二度目の緊急事態宣言が発出されました。政府の各種政策の実施により一部持ち直しの動きも見られるものの、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。また、ライフイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」、スマホ写真のマーケットプレイス・SNSビジュアルマーケティング「Snapmart（スナップマート）」を運営してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、2021年1月より緊急事態宣言が発出された状況にも関わらず、売上高は691,602千円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は38,537千円（前年同四半期比131.9%増）、経常利益は26,372千円（前年同四半期比408.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,542千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5,560千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、25,812人（前年同四半期比25.4%増）となり、過去最高となりました。また単品の月間購入者数累計は、39,921人（前年同四半期比4.1%増）となりました。SEO対策に注力し、検索経由のトラフィック数が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は633,642千円（前年同四半期比1.1%増）、うち定額制売上高は、283,409千円（前年同四半期比8.2%増）となりました。また、セグメント利益は、218,207千円（前年同四半期比22.3%増）となりました。

②fotowa事業

fotowa事業において、感染症の影響による緊急事態宣言の発出があったものの、室内撮影のニューボーンフォトは堅調に推移し、また卒業式・入学式などの撮影ジャンルも好調で、第1四半期撮影件数が3,160件（前年同四半期比28.7%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は21,855千円（前年同四半期比22.9%増）となりました。また、セグメント損失は、広告宣伝費の増加により49,616千円（前年同四半期はセグメント損失42,420千円）となりました。

③Snapmart事業

Snapmart事業において、オンデマンド撮影は、感染症拡大の中でも需要が堅調な食品や雑貨等のジャンルを中心に撮影が増加し、第1四半期売上件数が46件（前年同四半期比43.8%）となりました。またマーケットプレイスは、月間購入者数累計は、2,695人（前年同四半期比34.8%増）と成長いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は33,644千円（前年同四半期比37.2%増）となりました。また、セグメント利益は、1,511千円（前年同四半期はセグメント損失2,774千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,462千円増加し、2,204,286千円となりました。

これは主に、現金及び預金が64,719千円、売掛金が17,999千円増加した一方で、投資その他の資産のその他が48,559千円、無形固定資産が21,515千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ9,991千円減少し、1,502,951千円となりました。

これは主に、前受金が49,096千円、買掛金が14,856千円増加した一方で、流動負債のその他が48,033千円、長期借入金が33,254千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ20,454千円増加し、701,334千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益16,542千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.4%（前連結会計年度末は30.7%）となりました。（資産）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日に公表した通期業績予想から変更はございません。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞により、实体经济への影響が強く懸念されます。今後の経過によっては、当社の事業活動及び収益に大きな影響を及ぼす可能性があり、その場合には業績予想の修正を行う可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,797	1,320,516
売掛金	528,366	546,365
その他	134,753	127,451
貸倒引当金	△672	△949
流動資産合計	1,918,244	1,993,384
固定資産		
有形固定資産	13,984	19,381
無形固定資産	157,666	136,151
投資その他の資産		
その他	111,988	63,429
貸倒引当金	△8,060	△8,060
投資その他の資産合計	103,928	55,369
固定資産合計	275,579	210,902
資産合計	2,193,823	2,204,286
負債の部		
流動負債		
買掛金	407,735	422,592
1年内返済予定の長期借入金	133,016	133,016
未払法人税等	4,077	11,420
前受金	471,335	520,432
その他	287,743	239,709
流動負債合計	1,303,909	1,327,171
固定負債		
長期借入金	209,034	175,780
固定負債合計	209,034	175,780
負債合計	1,512,943	1,502,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	319,477	320,137
資本剰余金	309,477	310,137
利益剰余金	45,093	61,635
自己株式	△421	△421
株主資本合計	673,626	691,488
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△265	93
その他の包括利益累計額合計	△265	93
新株予約権	7,519	9,752
純資産合計	680,880	701,334
負債純資産合計	2,193,823	2,204,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	669,947	691,602
売上原価	257,819	262,460
売上総利益	412,127	429,142
販売費及び一般管理費	395,511	390,605
営業利益	16,615	38,537
営業外収益		
受取利息	7	8
広告料収入	54	40
為替差益	-	1,549
債務免除益	238	-
受取補償金	-	126
助成金収入	-	918
その他	92	129
営業外収益合計	392	2,773
営業外費用		
支払利息	179	351
為替差損	11,637	-
本社移転費用	-	14,586
その他	0	-
営業外費用合計	11,816	14,937
経常利益	5,191	26,372
特別利益		
新株予約権戻入益	90	427
特別利益合計	90	427
特別損失		
海外拠点整理損	-	2,238
特別損失合計	-	2,238
税金等調整前四半期純利益	5,281	24,561
法人税等	10,842	8,018
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,560	16,542
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,560	16,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,560	16,542
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,077	359
その他の包括利益合計	6,077	359
四半期包括利益	517	16,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517	16,901
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	Snapmart	計				
売上高								
外部顧客への売上高	626,143	17,769	24,511	668,424	1,523	669,947	-	669,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	626,143	17,769	24,511	668,424	1,523	669,947	-	669,947
セグメント利益又は 損失(△)	178,340	△42,420	△2,774	133,145	△15,656	117,489	△100,873	16,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	Snapmart	計				
売上高								
外部顧客への売上高	633,642	21,855	33,644	689,142	2,460	691,602	-	691,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	633,642	21,855	33,644	689,142	2,460	691,602	-	691,602
セグメント利益又は 損失(△)	218,207	△49,616	1,511	170,102	△21,741	148,361	△109,824	38,537

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2021年2月10日開催の当社取締役会において、事業ポートフォリオの変更を踏まえ、2021年1月からの組織変更に対応し経営管理手法の見直しを実施するため、報告セグメントの変更を行いました。

これに伴い、前連結会計年度において、「クリエイティブ・プラットフォーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「PIXTA事業」「fotowa事業」「Snapmart事業」の3つのセグメントに変更することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。